

平成27年 消防概況をお知らせします

火災

| | | 平成26年 | 平成27年 | 増減 |
|----------|------|--------|---------|---------|
| 火災 件数 | 建物火災 | 12 | 10 | -2 |
| | 林野火災 | 1 | 0 | -1 |
| | 車両火災 | 3 | 4 | +1 |
| | その他 | 9 | 5 | -4 |
| | 合計 | 25 | 19 | -6 |
| 死傷 者数 | 死者 | 1 | 1 | 0 |
| | 負傷者 | 1 | 3 | +2 |
| 損害額 (千円) | | 12,843 | 91,247※ | +78,404 |

※平成27年12月28日の火災の損害額を除く

▷原因

放火3件、火入れ2件、たき火1件、ストーブ1件、こんろ1件、その他5件、不明・調査中6件

▷消火活動

平成27年中の火災件数は19件、前年と比較し6件の減少となり、消防団を召集するような火災は発生しませんでした。

▷対策

市では、次の重点推進項目を設定し、安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいます。

- ①火災による死傷者数を低減するため、住宅用火災警報器の設置を呼び掛ける「住宅防火対策」
- ②警戒巡視などの「放火火災防止対策」
- ③各施設への立ち入り検査および消防訓練の立ち会いなどの「不特定多数の方が利用する施設や福祉施設などの防火安全対策」

救急

| | | 平成26年 | 平成27年 | 増減 |
|----------|------|-------|-------|-------|
| 救急 件数 | 急病 | 1,487 | 1,491 | +4 |
| | 一般負傷 | 369 | 342 | -27 |
| | 交通事故 | 211 | 196 | -15 |
| | その他 | 368 | 383 | +15 |
| | 合計 | 2,435 | 2,412 | -23 |
| 搬送人員 | | 2,318 | 2,305 | -13 |
| 1日平均 | | 6.67 | 6.61 | -0.06 |

▷救急件数

平成27年中の救急出動件数は2,412件で、1日平均6.61件出動したことになります。搬送人員は2,305人で、市民約26人に1人の割合です。

全国的にも、高齢化の進行などにより救急件数は増加しています。土岐市でも全搬送人員の約66%を65歳以上の高齢者が占めています。

▷救急車の適正利用を

救急搬送した2,305人のうち、約4割の862人は医師により入院の必要がないと診断される「軽症」の方でした。本当に救急車が必要な人の元へ1秒でも早く救急車を到着させて大切な命を救うため、救急車の適正利用にご協力をお願いします。

救助

| | | 平成26年 | 平成27年 | 増減 |
|----------|------|-------|-------|----|
| 救助 件数 | 交通事故 | 18 | 23 | +5 |
| | その他 | 10 | 3 | -7 |
| | 合計 | 28 | 26 | -2 |
| 活動件数 | | 13 | 11 | -2 |
| 救助人員 | | 14 | 15 | +1 |

3月1日(火)～7日(月)は春の全国火災予防運動

『無防備な 心に火災が かくれんぼ』

(平成27年度全国統一防火標語)



住宅防火 命を守る7つのポイント — 3つの習慣・4つの対策 —

3つの習慣

- ▷寝たばこは、絶対やめる。
- ▷ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ▷ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- ▷逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- ▷寝具、衣類およびカーテンからの火災を防ぐため、防災品を使用する。
- ▷火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器などを設置する。
- ▷お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

問 消防本部 (☎543119)